

2.

M-0185

0279

機密號外

昭和十二年五月五日

在 滿

大使館參事官 澤田 廉



外務次官 堀内 謙介 殿

滿洲國政治行政機構改正ニ關聯スル人事異動ノ件

滿洲國政治行政機構改正ニ關シテハ五月四日附往信公機密第七四九號申進ノ通ナル處右ニ關聯シ同政府ニ於テハ此機會ニ人事ノ整理及大異動ヲ行フコトトナリ目下夫々手配中ナルカ先ツ建國以來政府要職ニ在リシ者ニ對シテハ出來得ル限り優遇(新ニ新設ノ官中顧問官ニ任命、敘勳、賜金、外遊等)ノ途ヲ講シテ之ヲ引退セシムルコトトシ張外交部大臣及丁實業部大臣ヲ新設ノ官中顧問官ニ齊業政務大臣ヲ參議ニ夫々轉職セシムル外馮司法部大臣ヲ退職

極秘

Handwritten notes and signatures at the top of the document, including the name '堀内 謙介' and other illegible characters.

在滿日本帝國大使館

セシメ新タニ現總務廳囑託張煥相ヲ司法部大臣ニ又韓新京特別市長ヲ經濟部大臣ニ任命スルコトトナリ一方現駐日大使謝介石ニ歸朝ヲ命シ自發的ニ辭表ヲ提出セシメ(謝本人ニ對シテハ未タ何等申進居ラサル趣ニ付御含置アリ度シ)其ノ後任ハ文教部大臣阮振鐸ヲ以テシ謝ノ辭表提出後直チニ日本國ノ「アグレマン」ヲ求ムルコトニ決定シ三日夜夫々本人ニ言ヒ渡シ了シタル趣ナリ尙外交部ニ關シテハ大橋ハ一部ニ此際參議タラシムヘシトノ説モアリシカ餘リ閑職ニ就カシムルコトハ却ツテ優遇ノ途ニ非ス等ノ議論モ在リ結局引續キ外務局長官トシテ止マラシムルコトニ決定シ簡井ヲ政務處長ニ矢野ハ弘報處長就任ヲ徐漣セラレ居ル處先般來星野總務廳長ヨリモ本官ニ對シ外交ノ外務省系ノ者ハ今回ノ機構改正ニ不拘引續キ其ノ職ニ止マランコトヲ希望スル旨申出アリ本官ハ此等外務省系ノ人々ハ勤務年數モ相當永キニ亘リ外務省歸還ノ時期ニモ到達シ居ルコトニテモアリ適當ノ時期ニ本省ニ復歸セシメ度意嚮ヲ有スル旨ヲ答ヘ居ル次第ナリ就テハ先般電報ニテ申

在滿日本帝國大使館

極秘

昭和十二年三月二十七日

滿洲國政治行政機構改革大綱案

總務廳

在滿日本帝國大使館

進ノ通矢野ハ滿蒙會議等ノ關係モアリ何等カノ職名ノ下ニ少時ハ
殘留スヘキモ筒井及廣瀬ハ機構改正後早日ニ本省歸還ノ希望モア
ルニ付後任者ニ就テモ今ヨリ可然御手配置アリ度特ニ政務處長ハ
事實上外務局ノ中樞ナルヲ以テ相當ノ人物ヲ以テ充當スル必要アリ
殊ニ滿洲國ノ現情ハ對「ソ」問題カ重點タル關係モアリ露西亞
ニ經驗ヲ有スル龜山書記官カ三浦~~知~~一外務事務官邊リカ適任ニ非
スヤトモ思考セラレ何レニスルモ本件人選ハ至急具體的ニ進捗セ
シメ置カルルコト必要ト認ム尙筒井、矢野等ヨリ大橋ニ對シ此際
米國視察ヲ止メ至急歸國スヘキ様電報ニテ申進タル趣ナリ
右報告旁々申進ス

在滿日本帝國大使館

滿洲國政治行政機構改革大綱案

方針

滿洲國ノ根本理念ト内外諸般ノ情勢トニ鑑ミ國內治安ノ迅速ナル實正ヲ期シ産業經濟ノ計畫的開發運営ヲ圖リ民生ヲ伸張シ以テ國防力ノ飛躍的發展ト民心ノ完全ナル把握ニ即應スル簡明強力ナル態勢ヲ整フル爲速ニ左記諸項ニ基キ現行政機構ノ根本的調整ヲ斷行ス

一、機構ノ全般ヲ通シ之ヲ徹底的ニ簡明化スルト共ニ政府各部ノ全權執行等ノ一元的統制ヲ強化シ能率的ナル國家經營ニ便ナラシムルコト

二、迅速ナル治安ノ肅正ヲ期スル爲關係機構ヲ一元的ニ統合強化スルト共ニ地方軍警ト一般行政トノ調和ニ就キ考慮ヲ加フルコト

三、經濟開發就中五ヶ年計畫ヲ遂行スルニ便ナル態勢ヲ整へ且重要産業ニ對スル統制機能ヲ強化スルニ便ナラシムルコト

四、民心ノ作興及民力ノ涵養ヲ圖リ農村ノ振興ヲ期スルニ便ナラシム

在滿日本帝國大使館

ル爲關係機構ヲ合理的ニ統合強化スルコト

五、中央、地方ノ連絡ヲ密ナラシメ且地方行政機關ノ機能ヲ擴充強化シ劃一主義ノ弊害ヲ是正スルコト

六、地方自治體ヲ育成整備シ行政、文化、經濟等ノ有機的綜合組織體トシテノ内容ヲ充實セシムルコト

七、本改革ノ斷行ト共ニ民族協和ヲ害スル虞アル諸制度ヲ根本的ニ是正スルコト

在滿日本帝國大使館

要 綱

- 一、立法院ハ當分現狀ノ儘トス
- 二、參議府ハ當分之ヲ存續スルモ其諮詢事項ヲ整理シ意見上奏ノ制ヲ廢ス
- 三、監察院ヲ廢シ審計局ヲ置ク
 - ノ審計局ハ之ヲ國務院ニ置ク但審計ニ付テハ國務總理大臣ノ干涉ヲ受タルコトナシ
- 四、審計長官ハ國務總理大臣ヲ經テ毎年審計ノ成績ヲ上奏シ又會計ニ關シ特ニ施設改良又ハ處置ヲ爲スヘキ點ヲ認メタルトキ隨時意見ヲ國務總理大臣ニ提出スルコトヲ得ルモノトス
- 五、行政各般ニ亘リ考察ノ制度ヲ鞏化シ以テ官廳ノ自省自戒ト能率ノ増進トヲ圖ルモノトス
- 六、之カ爲總務廳及各部ヲ選シ必要ナル內容制度ノ整備ヲ爲スコトトシ細部ハ別途研究ス

在滿日本帝國大使館

- 五、官中顧問官ヲ特任又ハ簡任待遇トシ功臣優遇ノ途ヲ拓ク
- 六、國務大臣ハ從來ノ如ク國務總理大臣ノミトシ各部大臣ハ國務總理大臣ニ隸屬スル各部ノ行政擔當責任者タルモノトス
- 七、軍令ニ關スル事項ハ當分現狀ニ準シ處理スルモノトス
- 八、總務廳ノ計畫統制機能ヲ整備鞏化ス
 - ノ總務長官ハ國務總理大臣ヲ輔佐ス
- 九、國務顧問ノ制ヲ廢止ス
- 十、外交並地方團體ノ一般的指導及地方長官（興安各省長ヲ含ム）ノ一般的監督ヲ國務總理大臣ノ直率トシ各部大臣ハ主管ノ事務ニ付地方長官ヲ監督スルモノトス
- 十一、外交ニ關スル事項ヲ司掌セシムル爲外務局ヲ設ク
- 十二、地方團體ノ一般的指導及地方長官ノ一般的監督ニ關スル事項ヲ司掌セシムル爲內務局ヲ設ク
- 十三、內務局ハ官房及管理處並監督處ヲ以テ構成シ官房ニ都邑計畫

在滿日本帝國大使館



科ヲ置ク

ハ、外務局長官及内務局長官ハ國務總理大臣ノ直屬ナルモ總務長官ハ國務總理大臣ノ幕僚長トシテ實質的ニ之ヲ統制スルモノトス

ハ國務總理大臣管理ノ下ニ金査會議ヲ起シ經濟委員會、民生振興委員會及文教委員會等ニ分チ各方面ノ權威者ヲ網羅シ之カ基本方策ヲ審議セシメ國策ノ樹立ニ資セシム

右委員會ノ設置ニ伴ヒ既設各種委員會ヲ統合整理ス
經濟委員會ハ日滿經濟共同委員會ト緊密ナル關係ヲ保持スルモノトス

イ、秘書處ヲ官房トス
ロ、委任官ノ人事ハ日滿人ヲ問ハス各部局長官ニ專行セシム
官内府ノ人事ニ付テモ簡任官以上ニ付テハ勸諭ヲ受ケルモノ

在滿日本帝國大使館

トス

ハ、總動員ノ統括事務ハ金査處ヲシテ之ニ當ラシメ所要ノ整備ヲ爲ス

ニ、統計考査情報宣傳ノ計畫統制機能ヲ擴充ス
ホ、次長ヲ複數トシ職務ヲ分掌セシム

ハ地籍整理局ハ現行ノ通トス但土地制度ニ關スル事務ハ之ヲ其性質ニ應シ各部ノ所管ニ移ス

ハ外交部ヲ廢止シ外交ヲ國務總理大臣ノ直掌トス
ハ國務總理大臣直轄ノ下ニ外務局ヲ置キ駐外使館、領事等ノ監督、國際交渉、在外居留者ノ指導保護及各國政情調査ニ關スル事項ヲ掌ラシム

ハ外務局ハ官房及政務處並調査處ヲ以テ構成ス
ハ通商ニ關スル事項ハ經濟部ニ管掌セシム
ハ軍政部及民政部警務司ヲ統合シ治安部トス

在滿日本帝國大使館



本部ハ官房及參謀司、軍政司並警務司ヲ以テ構成シ其ノ主管
 區分ヲ左ノ通トス

參謀司 統帥、練成及軍警協力ニ關スル事項
 軍政司 軍政ニ關スル事項（參謀司所管事項ヲ除ク）
 警務司 警察ニ關スル事項

2 大臣、參謀司長及軍政司長ハ武官ヲ以テ之ニ充テ次長及警務
 司長ハ文官ヲ以テ之ニ充ツ

次長ハ統帥事項ニ關與セサルモノトス

3 國軍ノ編成及配置ヲ改正シ直轄軍ト警備軍トニ分テ警備軍ハ
 主トシテ地方治安肅正ノ根幹ヲシムルト共ニ國內警備ニ任
 セシメ直轄ハ主トシテ國防ノ任ニ當ラシムルト共ニ必要ニ應
 シ國內治安ノ肅正ニ協力ス

4 地方警察機關ハ特殊ノモノヲ除クノ外現行ノ通省公署ノ所管
 ニ屬シ治安恢復地域ニ於ケル之カ維持ノ任ヲ擔當シ豫防檢舉

在滿日本帝國大使館

ニ依リ治安肅正ニ協力ス

5 地方長官ハ管内治安ノ狀況ニ基キ國軍ニ對シ出動ノ要求ヲナ
 シ得ルモノトス

6 現軍政部顧問ハ當分滿軍顧問トシ滿軍ノ統帥、練成軍政、軍
 事司法等ノ専門事項及軍警協力ニ關スル指導ニ當ラシム

7 路警ヲ接收シ鐵道特殊警察隊トナシ治安部大臣ニ隸屬セシム

一、蒙政部ヲ廢止シ國務總理大臣直轄ノ下ニ興安局ヲ設ク

ノ興安局總裁ハ蒙政ニ關シ國務總理大臣ヲ輔佐シ各部蒙政事務
 ノ連絡調整ニ任ス

2 興安局總裁ハ國務院會議ニ列セシム

3 興安局ニ參典官ヲ置ク

4 興安局ハ特ニ內務局ト密接ニ聯繫シ得ル様措置ス

一、民政、財政、實業、交通及文教ノ各部ヲ改組シ民生、產業、
 經濟及交通ノ各部トシ各外局ヲ整理配屬ス

在滿日本帝國大使館

民生部ハ主トシテ教育、社會、保健等民心作興、民生安定ニ
 關スル行政ヲ統合管掌スルモノトス
 イ、本部ハ官房及教育、社會並保健ノ各司ヲ以テ構成ス但社
 會司ハ宗教、社會教育ニ關スル事項ヲ管掌ス
 ロ、衛生技術廠ハ本部ノ所管トス
 2 産業部ハ主トシテ民力ノ涵養ト國防ノ充實ノ爲ニスル資源ノ
 利用開發及保有ニ關スル行政ヲ統合管掌スルモノトス
 イ、本部ハ官房及農務、鑛工、建設並拓政ノ各司ヲ以テ構成
 ス但農務司ハ水産ニ關スル事項ヲ併セ管掌シ建設司ハ利水
 發電、耕地開拓、灌溉排水、公有水面墾立等ニ關スル事項
 ヲ分掌ス
 ロ、馬政局ヲ統合シ本部ノ外局ニ畜産局ヲ置ク
 但馬政ニ關シテハ産業部大臣ノ外治安部大臣ノ監督ヲ受ケ
 シム
 ハ、林務司ヲ外局トシ林野局ヲ置ク但林野局ノ直轄管理經營

在滿日本帝國大使館

スヘキ森林ハ重要森林ニ限ル
 ニ、特許發明局ハ本部ノ所管トス
 本、臨時産業調査局ヲ廢止ス
 3 經濟部ハ主トシテ資源ノ利用開發及保有ニ要シ又ハ之ニ伴フ流
 通經濟ニ關スル行政ヲ統合管掌スルモノトス
 イ、本部ハ官房及商務、稅務並金融ノ各司ヲ以テ構成ス但商
 司ハ商事、通商、貿易、取引、保險、倉庫等ニ關スル事項ヲ
 分掌ス
 ロ、外局トシテ專賣總局ヲ置ク
 ハ、權度局ハ之ヲ本部ニ移管シ本部内ノ權度檢定所トス
 ニ、國有財産ニ關スル事務ハ本部ノ所管トス
 4 交通部ハ主トシテ流通經濟ニ伴フ交通通信ニ關スル行政ヲ統合
 管掌スルモノトス
 イ、本部ハ官房及鐵路、道路並航路ノ各司ヲ以テ構成ス但鐵路
 司ハ自動車運輸ニ關スル事項ヲ併セ管掌シ、道路司ハ道路並

在滿日本帝國大使館



乘ノ建設、改良、維持、管理等ニ關スル事項ヲ分掌シ、航路
 司ハ航海、航空、水運、港湾、水路等ニ關スル事項ヲ分掌ス
 四、外局トシテ郵政總局ヲ置ク
 ハ、航政局ハ之ヲ税關ニ合併シ税關長ハ航政ニ關シ交通部大臣
 ノ監督ヲ受ク
 五各種法人、組合等ニ對スル指導乃至監督、土地ニ關スル事務及
 公共用財産ノ管理等ハ其事務又ハ事業ノ性質ニ應ジ各部ノ主管
 ニ從ヒ適宜之ヲ配屬ス
 二五 法院及司法部ノ組織ハ概ネ現行ノ通トス但司法部ノ所管事項ヲ
 調整ス
 ノ地籍及民籍ノ管理ニ關スル事項ハ本部ノ所管トス
 二四 各部ニ參事官ヲ置キ重要部務ニ參畫セシム
 二五 地方行政機關ハ地方ノ實情ニ即應スル如ク統合整備ス

在滿日本帝國大使館

/ 地方行政機關ハ土地ノ實情及事務ノ性質ニ應シ能ハ限リ之ヲ統
 合ス
 二 地方行政機構ノ劃一ヲ避ケ地方ノ實情ト關ノ要請ニ適應セシム
 三 報告及伺事項ヲ整理シ尙適宜權限又ハ事務ノ委任ヲ行フ
 四 各省ノ區劃ニ所要ノ修正ヲ加フ
 一六 協同組合ヲ普及シ地方自治制ヲ整備ス
 / 行政ト經濟ノ融合ヲ圖ル爲メ地方團體ト産業組合ヲ密接不可分ノ
 關係ニ置ク之カ爲メ兩者ノ理事機構ヲ人的ニ連繫セシメ且其地域
 ヲ可能ノ限リ一致セシム
 二 地方自治ハ民度ト能力ニ應シ整備シ適度ニ之ヲ統制ス
 四、地方團體ノ理事機構ハ官吏又ハ官選トス
 四、當分地方團體ニ議決機關ヲ設クルコト無シ、諮問機關ヲ設
 クル場合ト雖之ヲ民選トスルコト無シ
 ハ、自治ノ範圍ハ下級團體ヲ廣クシ、民度ト能力ニ應シ漸進的
 普及ノ方針ヲ採ル

在滿日本帝國大使館

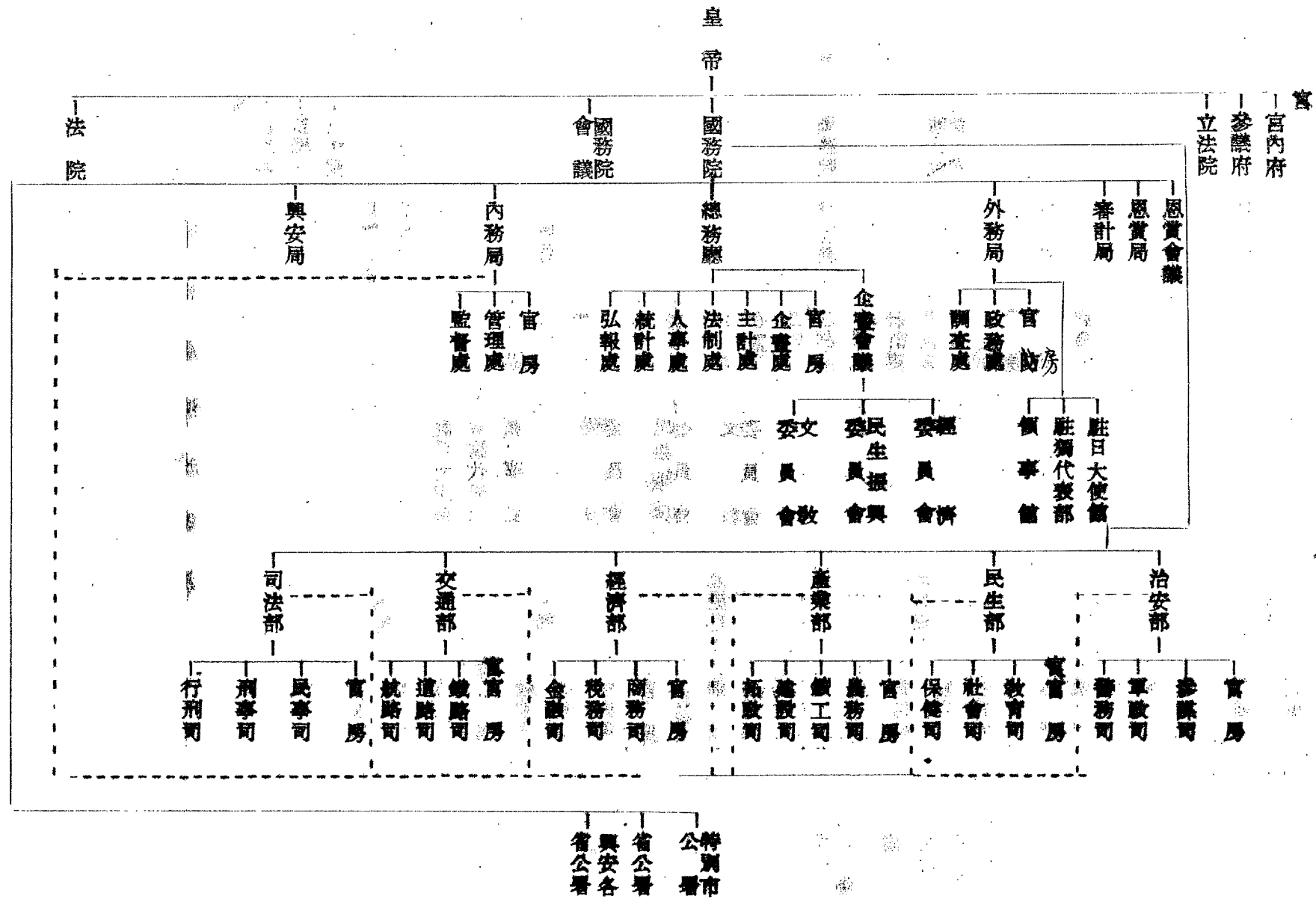
二、保甲ト街村ノ併立ヲ辨シ街村ノ整備ニ伴ヒ漸次保甲ヲ之
ニ吸収ス

在滿日本帝國大使館

M-0185

0230

附記 外局ヲ省略ス



行政機構改革案

